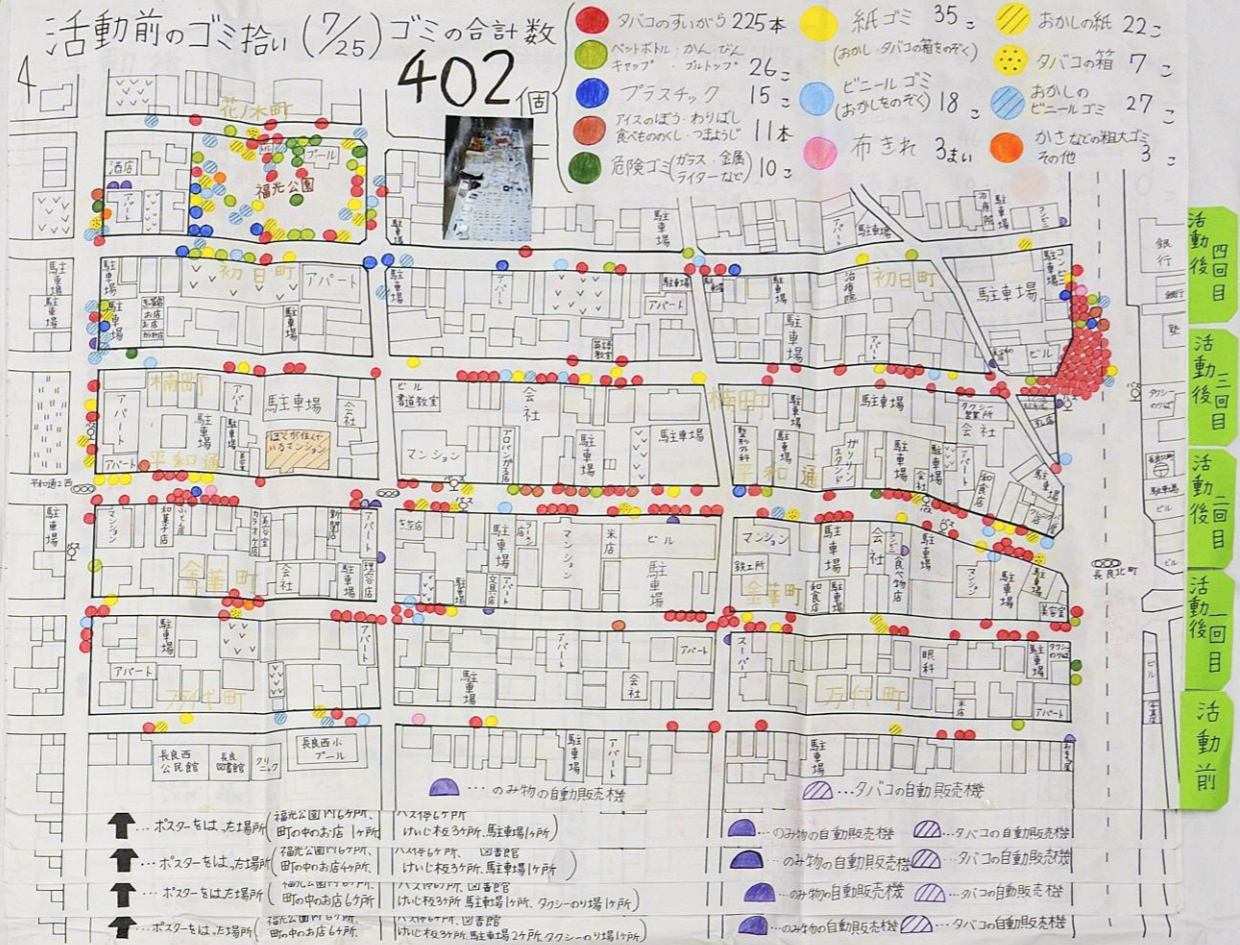
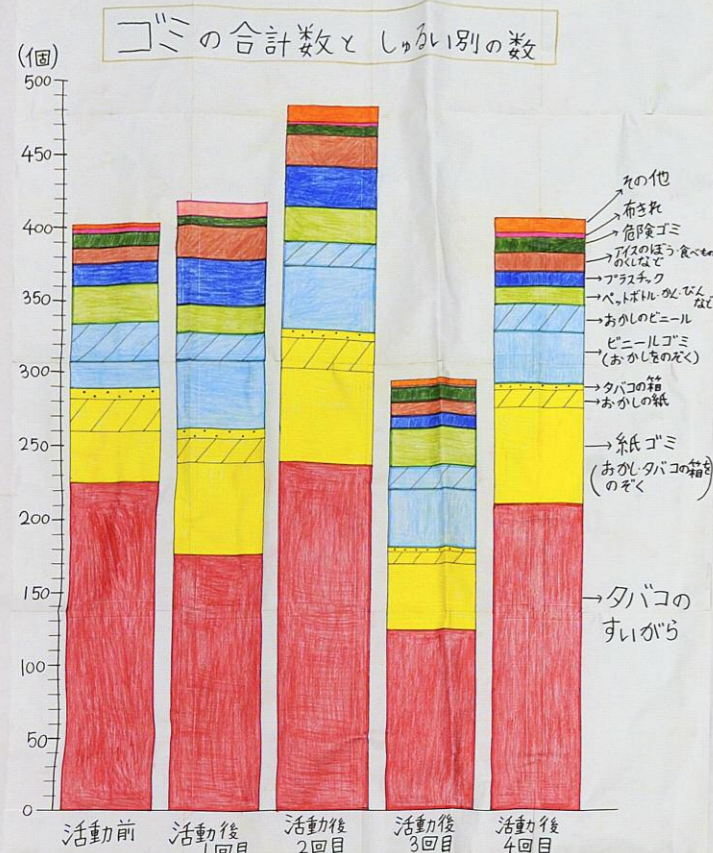


# めざせ野口健 ゴミ拾い and ゴミへらし大作戦



**動機**  
野口健先生の「ゴミ拾い」の活動に興味を持ち、自分も参加したいと思った。また、ゴミ拾いを通して、地域の美化や環境保護に貢献したいと思った。

**予想**  
ゴミの量は想像以上に多くなるだろう。また、タバコのすいがらが特に多いのではないかと予想した。

**方法**  
事前にゴミの種類を分類し、色分けした。また、活動中はマスクや手袋を着用し、安全に活動した。

**課題**  
ゴミの種類が多岐にわたるため、分類が難しいと感じた。また、活動中に雨が降ったため、作業が中断した。

**結果**

種類	7/25	8/1	8/8	8/15	8/22
合計	402	415	465	285	405
タバコ	225	175	287	124	211
紙	35	63	64	45	65
その他	22	16	21	8	12
ビニール	18	7	6	3	4
プラスチック	15	32	28	7	10
危険物	10	6	7	10	11
布	3	0	2	1	3
その他	3	0	12	4	10

**考えたこと感想**

ゴミ拾いを通して、地域の美化や環境保護に貢献したいと思った。また、ゴミ拾いを通して、自分も参加したいと思った。また、ゴミ拾いを通して、地域の美化や環境保護に貢献したいと思った。



茨城県つくば市にある国土交通省国土地理院「地図と測量の科学館」で開催された第14回全国児童生徒地図優秀作品展。文部科学大臣賞に輝く、岐阜大学教育学部附属小学校4年生(当時)松永悠彦君の作品。動機、課題、予想、方法、活動、結果、考えたことと感想、というアプローチこそ、当「水の文化」が学ばなければならない大切なスタンスだ。松永君のような存在が、水とともに生きる新たな社会をデザインしてくれると、切に期待する。

水の文化 38号 2011年7月 特集「記憶の重合」

水の文化楽習実践取材

地図が広げる未来の可能性 編集部 10

地図で表わす世界観 長谷川孝治 4

ハザードマップと空間認知 岡本耕平 13

測量の歴史とその現場 政春尋志 16

住宅地図から電子地図まで 山下弘記 20

太田川の広島(概説) 編集部 24

四季太田川 熊本隆繁 33

ヒロシマ復興の軌跡 石丸紀興 36

シリーズ里川 江戸川区の水神様 沖中千津留 44

文化をつくる 記憶の重合 編集部 47

地図は河川研究の原点なり 古賀邦雄 48

里川文化塾と案内/東日本大震災レポート 奥付 51

**記憶の重合**

レイヤー

地図には、さまざまな事柄を、言葉を超えて伝達する力があります。「水の文化」でも、今までたくさんの地図を使って、紙面を構成してきました。

一般的に地図といえは、地理情報を図に落とし込んだもの、と考えがちです。しかし、旧版地図との比較で経年変化を表わしたり、曼荼羅図のように、現世と来世といった世界観を表わしたものもあり、地図の範疇はとて幅が広いのです。

また、地図は時代の要請に沿って、その有り様を変えてきました。わかっているようで、よくわからない地図のこと。デルタに発達した都市「広島」を地図から見つめ直すことで、地図の持つ奥深さを探ります。